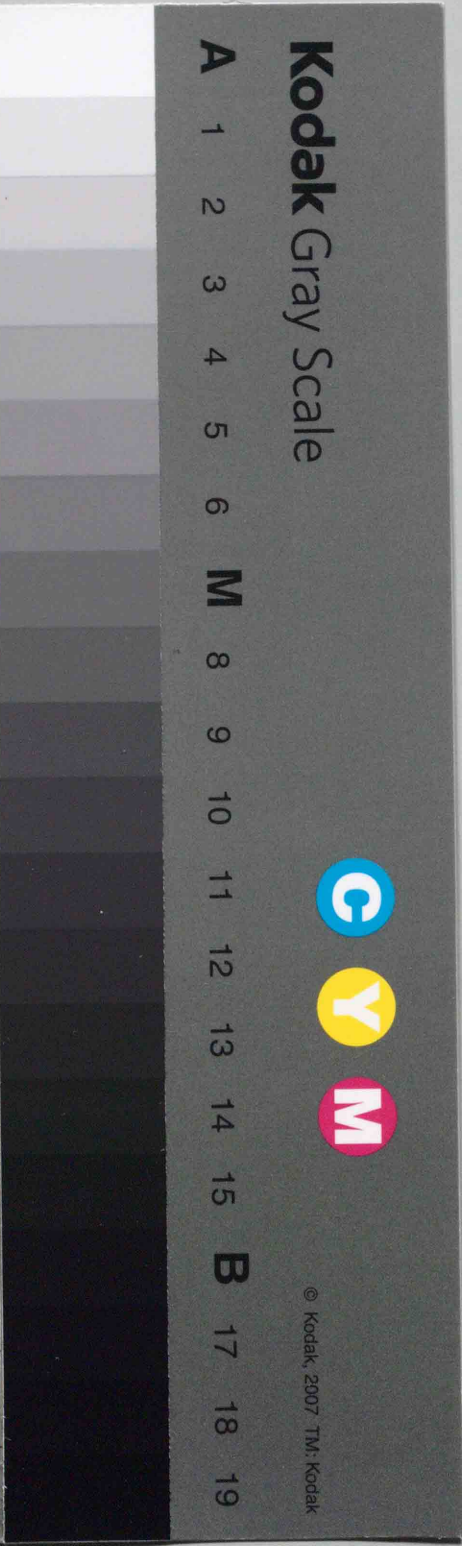
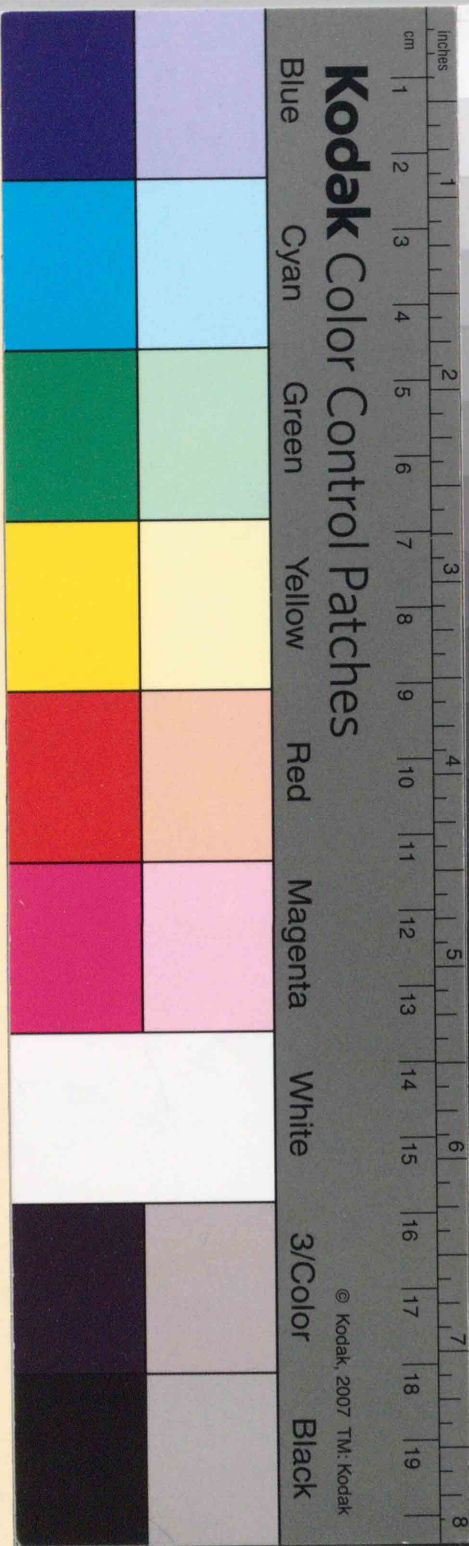


41058

教科書文庫

4
760
52-1933
01304 49394



教科書文庫  
4  
760  
52-1933  
0130449394

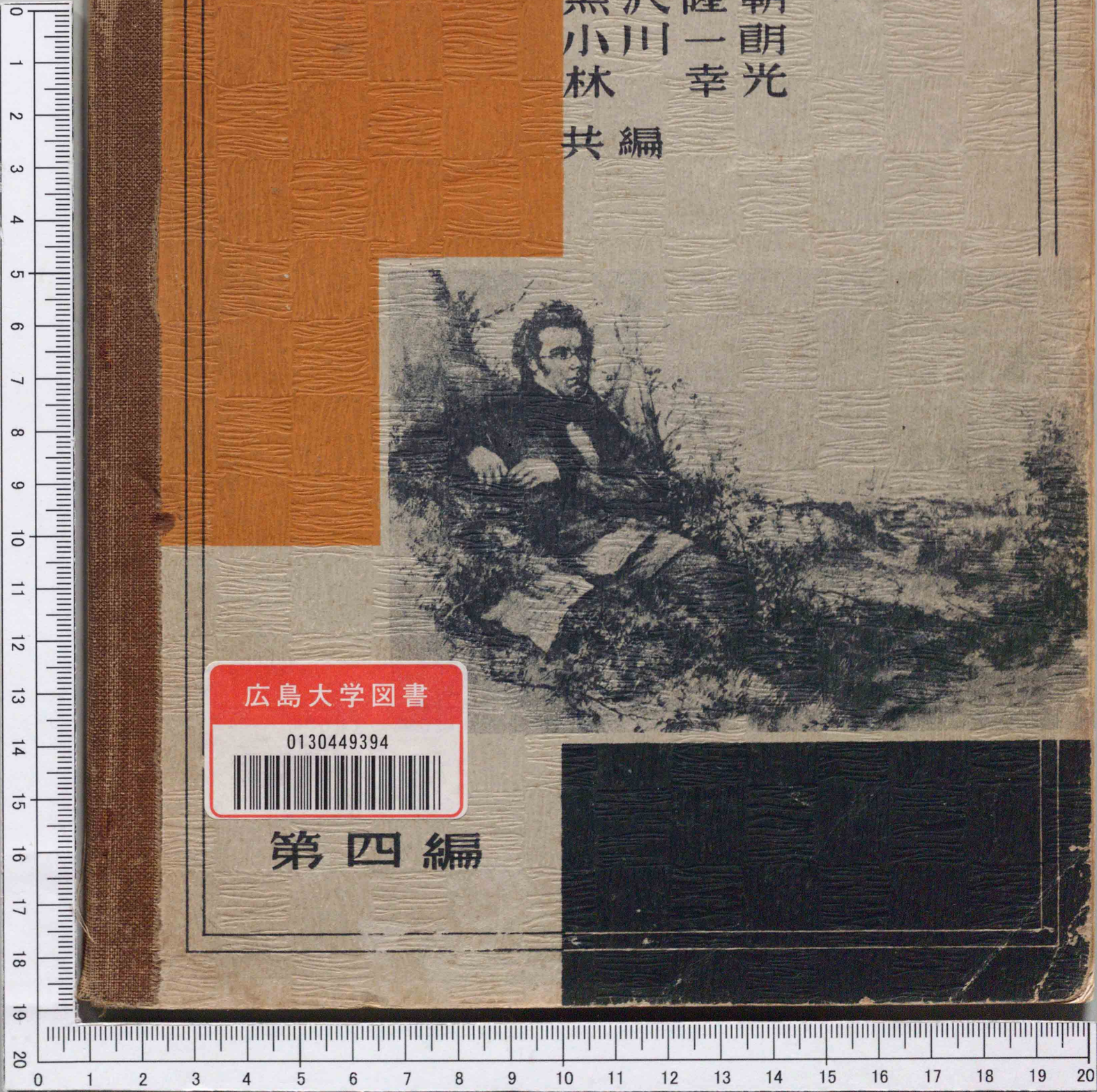
# 標準 女子音樂教科書

朝 隆 幸  
朝 朗 光  
小川 一  
林 幸  
黑 沢 隆  
共 編



広島大学図書  
0130449394

第四編



中央図書館

教科書文庫

4

760

52-1933

0130449394

# 標準 女子音樂教科書

第四編

黑澤隆朝  
小川一朗  
林幸光  
共編

文部省檢定済（昭和八年三月二日）  
（師範學校・高等女學校音樂科）

広島大学図書

0130449394



広島大学図書

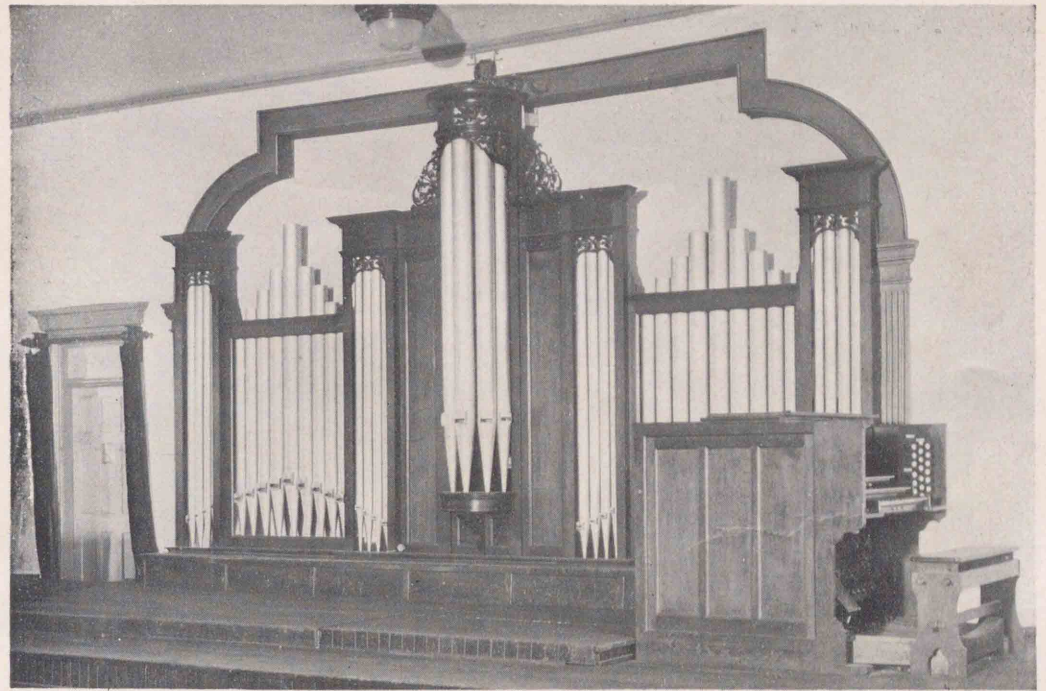
0130449394



東京  
共益商社書店發行



セザール・フランク



パイプオルガンの圖(東京音樂學校奏樂堂備付)



ベートーヴェン第九交響曲演奏の圖(會場東京日本青年館)



室内樂合奏(ピアノ五重奏)



吹奏樂(陸軍戸山學校軍樂隊)

## 巻頭のことは

本書は文部省の音楽教授要目に準據して現代の女子師範學校、並に高等女學校の音楽教科書として編纂されたものである。

本教科書の特長として擧げる事の出来るのは次の諸點で之等は行詰まれる音楽教育界に必ずや偉大なる貢獻を齎すべきことを堅く信ずるものである。

一 歌曲の形式は一々重要な任務を持ち易より難に極めて自然に配列せられてゐる。

歌曲の配列に當つては常々樂典知識の進歩と併進せしめる事に努め、音符の形態、リズムの形式、拍子、調等のあらゆる事項について極めて綿密に考察せられ前後よく連絡を保つてゐる。

二 歌曲にはなるだけ伴奏をつけ生徒の音楽的陶冶に便にしてゐる。

言ふまでもなく音楽科に於ける歌曲教授は聲樂的訓練をその目的の全部とするものでなく常にその歌曲を中心として能ふ限り音楽的陶冶をなすにあるのである。その意味からメロディのみならず常にハーモニーその他の音楽的條件を理解せしむる事に努力したのである。

三 歌曲の形式及び之に含まれる音楽的要素の理解をはかる爲めには基礎的練習、又は類似曲をあつめ之を参考曲又は鑑賞曲として縦横自在に徹底を期した。

練習曲は時間の都合で教授者の任意に待つものがあるが編者は最少限度と見て此等の練習曲を挿入したものである。又参考曲は正教材に準ずるもので容易に自學し得べきものを之にあてた。

四 鑑賞曲は理解程度に應じ、聲樂器樂を通じて次第に世界的名曲に及び國民教養に必要と思はるる楽曲は殆ど之を網羅

した。

之は本書の最も力を注いだ新生面で、従來の音楽教育を唱歌教授の域から援ひたい意圖に出たものである。更に之を補ふ爲めに必要に應じ、次の二點に深甚なる考慮を拂つた。

五 曲の解説、樂器の圖解、作曲者の評傳等は勿論、音楽理解に必要な圖形寫眞を惜みなく挿入した。

六 歌詞の一字一音は常にメロディの性質により極めて自然に音韻を配置した事。

之は従來殆んど顧みられざる一大缺陷であつた。此の考慮を缺く時は如何なる名歌詞も支離滅裂の誹を免れなかつた。

その他樂典の解説は徒らに條文的の無味乾燥に流れる事を避けたこと、練習曲等には各々その學習の要點を指摘する事につとめた。

本書に収録された樂曲は少數の編者作を除くの外は全部泰西の名曲で、然も日本の國民性に共鳴點の多いもののみを選び、之に諸家を煩はして前述の如き歌詞を新作したのである。

猶萬全を期して事に當つたのであるが、未だ相補し相割く可き餘地の多々あることを信ずる。願くば道の爲めに大方の御叱正を乞ふ次第である。

終りに臨み鑑賞本位音楽陶冶主義に立脚して編纂した編者の意圖に賛同せられ、音楽教育更新の爲め本書の使命をして意義あらしめる様希望して止まない次第である。

昭和六年盛夏

編纂者識す

## 第四編

### 目次

葉 櫻 .....	1
野薔薇 .....	6
【鑑賞曲】 マドリガル	
かがやくさつき .....	8
【参考曲】 ゆふべしづか	
【鑑賞曲】 カンツォネッタ	
(略傳) パデレフスキ	
【鑑賞曲】 ミヌエッタ	
山うぐひす .....	14
(略傳) メンデルスゾーン	
【鑑賞曲】 無言歌	
一 重嬰記號と重變記號 .....	19
【鑑賞曲】 カヴァティーナ	
紡ぐ少女 .....	20
欸乃の調 .....	22
【鑑賞曲】 ヴェニス <small>の</small> 舟唄	
(略傳) プッチーニ	
【鑑賞曲】 歌劇蝶々夫人中の舟唄	
昭和の日本 .....	28
我が太陽 .....	32
【鑑賞曲】 吾が母の教へ給ひし歌	
【鑑賞曲】 ヴェニス <small>の</small> 謝肉祭	
嗟峨野の秋 .....	36
【鑑賞曲】 トロイカ	
籬の白菊 .....	40
【鑑賞曲】 歌劇ラムメルムール中の祝婚行進曲	

【鑑賞曲】 歌劇「ローエングリン」中の祝婚行進曲  
 【鑑賞曲】 幻想的即興曲  
 (略傳) ショパン  
 【鑑賞曲】 ボロネーズ  
 【鑑賞曲】 夜想曲  
 【鑑賞曲】 歌劇「アイーダ」中の行進曲  
 【鑑賞曲】 歌劇「ファウスト」中の兵士の合唱  
 【鑑賞曲】 歌劇「カルメン」中の闘牛士の歌

倭文の苧環 .....46  
 旅の明暮 .....48  
 (略傳) ルビンスタイン  
 【鑑賞曲】 へ調による旋律  
 【鑑賞曲】 セレナーデ (ドリゴ)  
 【鑑賞曲】 セレナーデ (クライスラー)  
 【鑑賞曲】 金婚式

富嶽の頌 .....54  
 二 樂曲の形式 .....58  
 (一) 樂式  
 (二) 旋律  
 (三) 旋律の構成  
 (四) 一部分型式の樂曲  
 (五) 二部分型式の樂曲  
 (六) 三部分型式の樂曲  
 (七) 複合三部分型式  
 (八) ソナタ型式

# 葉 櫻

Reichardt.

Vivace. *gva.*

Two staves of piano music in 2/4 time, key of B-flat major. The music is lively and features chords and eighth notes.

Single staff of vocal music with lyrics: ヤマノフモト やまのふもと. The melody is simple and follows the piano accompaniment.

*gva.*

Two staves of piano accompaniment. It features a steady bass line and chords in the right hand.

Single staff of vocal music with lyrics: ノ オイ キニワカギ エダ ヲカハシ テ シゲ の おい きにわかぎ えだ をかはして しげ エダ ノ シゲ えだ の しげ. The melody is simple and follows the piano accompaniment.

Two staves of piano accompaniment. It features a steady bass line and chords in the right hand.

レ ル サ ク ラ ワ カ バ ノ ウ ミ ヨ オ ホ ナ ミ コ ナ  
 れ る さ く ら わ か ば の う み よ お ほ な み こ な

レ ル サ ク ラ ワ カ バ ノ ウ ミ ヨ オ ホ ナ ミ コ ナ  
 れ る さ く ら わ か ば の う み よ お ほ な み こ な

ミ ア レ ア レ ウ ネ ル ハ サ ク ラ サ ク ラ  
 み あ れ あ れ う ね る は ざ く ら さ く

ミ ア レ ア レ ウ ネ ル ハ サ ク ラ サ ク ラ  
 み あ れ あ れ う ね る は ざ く ら さ く

ココロサワヤカーナツハチカツクウグヒスオイ

テ ナ ツ ハ チ カ ツ ク ク モ ウ キ タ チ テ ナ ツ

*piu Lento*

ハ チ カ ツ ク ア ラ バ ワ カ バ ノ ハ サ ク ラ サ ク ラ

ア ラ バ ノ ウ ミ ヲ フ キ ク ル カ セ

ウ ミ ヲ フ ク カ セ





# 野 薔 薇

Lieblich (♩ = 69)

Schubert.

一. ヒトモト サークール ノバラノハナ メデテカ  
 二. つくゑのとーもーと ひとえこへど ばらはい  
 三. タラルヒ トーエーダ ノナカノバラ イタデニ

*pp*

ケーヨーリ ヨリソ フラートーメ アーカーズナーガ ムル  
 らーへーず とげのみ あーかーし たーめーらーふーをとめ  
 ナーゲーク ナミダノ ヲートーメ ユーフーヤーミーチ カシ

*cresc.*

*rit.* Tempo I.  
 マシロノバラー ニホヘルバラー  
 ましろのばーら ゆかしのばーら  
 マシロノバラー アハレノバラー

*pp rit.* Tempo I

[鑑賞曲]

Andantino quasi Allegretto. マドリガル

A. Simonetti.

1

後 畧

三	二	一	
夕 <sup>タ</sup> 傷 <sup>イ</sup> 手 <sup>テ</sup> あはれの薔薇 <sup>バ</sup>	躊躇 <sup>チウ</sup> 薔薇 <sup>バ</sup> ゆかしの薔薇 <sup>バ</sup>	文 <sup>ブ</sup> 机 <sup>キ</sup> の 友 <sup>トモ</sup> 薔薇 <sup>バ</sup> は 應 <sup>オウ</sup> へ ず 句 <sup>ク</sup> へ る 薔薇 <sup>バ</sup>	野 薔 薇 藤 村 俊
手 <sup>テ</sup> 折 <sup>セ</sup> る 一 <sup>ヒト</sup> 枝 <sup>エ</sup> 闇 <sup>ク</sup> に 嘆 <sup>ナゲ</sup> く	躑 <sup>チウ</sup> 躑 <sup>チウ</sup> ふ 少 <sup>コ</sup> 女 <sup>メ</sup>	倦 <sup>ク</sup> か ず 眺 <sup>ノゾ</sup> む る 愛 <sup>アイ</sup> て て け け け 一 <sup>ヒト</sup> 本 <sup>ポン</sup> 咲 <sup>サキ</sup> け る	
眞 <sup>マコト</sup> 涙 <sup>ナミダ</sup> 野 <sup>ノ</sup> の 中 <sup>ナカ</sup> の 薔 <sup>バ</sup> 薇 <sup>バ</sup> 白 <sup>シロ</sup> の 少 <sup>コ</sup> 女 <sup>メ</sup> の 薔 <sup>バ</sup> 薇 <sup>バ</sup>	眞 <sup>マコト</sup> 棘 <sup>トゲ</sup> の 薔 <sup>バ</sup> 薇 <sup>バ</sup> 白 <sup>シロ</sup> の 薔 <sup>バ</sup> 薇 <sup>バ</sup>	一 <sup>ヒト</sup> 枝 <sup>エ</sup> の 乞 <sup>コ</sup> へ ず 真 <sup>マコト</sup> 白 <sup>シロ</sup> の 薔 <sup>バ</sup> 薇 <sup>バ</sup>	野 <sup>ノ</sup> 薔 <sup>バ</sup> 薇 <sup>バ</sup> の 花 <sup>ハナ</sup> 寄 <sup>ヨ</sup> り 添 <sup>ソ</sup> ふ 少 <sup>コ</sup> 女 <sup>メ</sup>



をばわかばーのいろははえて もーりにはや  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー

しーにとりもうたふ そらはうすみどりき  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー

はーすみて わーかーきこころどときめく  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー  
 ラー ラー ラー ラー ラー

三 添そひ行く小川の水の光の影のかけ  
 なべて五月の陽を浴びて  
 輝く今日ぞ樂しき

二 青葉若葉の色は映えて  
 森に林に鳥もうたふ  
 空はうすみどり 氣は澄みて  
 若き心ぞこさめく

一 かがやく五月の野邊にいでて  
 ふむや若草のかをりゆかし  
 心躍りておのづから  
 歌聲きそふ友ごち

かがやくさつき  
 桑田つねし

[参考曲]

ゆふべしづか

V. Wallace.

Moderato. *mp*

ユ フ ベ シ ツ カ カ ネ ノ ネ ト ホ ク キ エ ア  
ハ レ ユ フ ツ ツ オ ー ボ ロ ニ カ ー ス ム ハ  
ル ノ タ ビ ノ モ ノ ウ キ オ モ ヒ ハ  
ナ ニ ト リ ニ ハ ー ル ケ キ カ ー ナ タ ニ ツ  
レ マ ツ ラ ム ト モ ビ ト ア ハ ー レ

[鑑賞曲]

カンツォネッタ

Guilmant.

Andantino.

ナ ニ ト リ ニ ハ ー ル ケ キ カ ー ナ タ ニ ツ  
レ マ ツ ラ ム ト モ ビ ト ア ハ ー レ

後 畧



パデレフスキイ(Ignaz Jan Paderewski, 1860—現存)氏は現代の有する最も偉大なピアニストの一人である。更に彼の名を史上に不朽ならしめたものは歐洲大戦亂の後に獨立を宣したポーランド共和國の第一次の大統領として、又は首相として押され衆望を集め、ヴェルサイユ會議に臨んだ事などである。氏は十二歳ワルサウ音樂學校に入學してピアノ及作曲を學び、此所で雄飛の基礎を作つたのである。

後母校の教師となり、歐洲を遍歴してその名を一世に馳せた。戦亂勃發當時アメリカに居た氏は故國の急を知り速かに歸國した。之に對して國家は最高の敬意を表して氏を迎へ、氏の経綸に俟つ事が多かつた。

作品には數多の輝かしきピアノ作曲の外、歌劇の數篇が數へられる。1926年10月オックスフォード大學より音樂博士の名譽ある學位を贈られた。

[鑑賞曲]

ミヌエット

Paderewski.

Allegretto.

ナ ニ ト リ ニ ハ ー ル ケ キ カ ー ナ タ ニ ツ  
レ マ ツ ラ ム ト モ ビ ト ア ハ ー レ

中 畧

con forza la melodia.

後 畧

# 山うぐひす

F. Mendelssohn.  
編者 編曲

Andante. *p*

やま びこ ねむれる みやまのおくに  
やま びこ ねむれる みやまのおくに

Andante. *p*

*cresc.* *f* *p*

こゑも かそけ - く うぐひす - なく かそけ  
こゑも かそけ - く うぐひす - なく うぐひす -

*cresc.* *f* *p*

*p*

けく やま びこ ねむれる  
なく やま びこ ねむれる みやまのお  
やま びこ ねむれる みやまのお

*cresc.* *f* *p*

こゑも - かそけ - く - うぐひ - す - うぐひ すなく  
くに こゑも かそけ - く - うぐひす - なく う  
くに こゑも かそけ - く うぐひす - なく

*cresc.* *f*

やま び こ ねむれる み  
ぐ ひす-なく やま び こ ねむれる み  
なき-なく やま び こ ねむれる み

やまのおくに ころも かそけ -く う  
やまのおくに ころも かそけ -く う  
やまのおくに ころも かそけ -く う

ぐ ひす-なく う ぐ ひす-なく う ぐ ひす-なく  
ぐ ひす-なく う ぐ ひすなく う ぐ ひす-なく  
ぐ ひす なく う ぐ ひすなく う ぐ ひすなく う

かそ-けく - - -かそけく  
かそ けく ホケキヨ ケキヨ かそ けく  
ぐ ひす-なく ホケキヨ ケキヨ かそ けく



メンデルスゾーン(Felix Mendelssohn-Bartholdy, 1809—1847) オーストリアにモーツァルト 姉弟が現れたに對し、約五十年を経てドイツ、ハンブルグにも天才姉弟が現はれて世人に謳はれた。弟をフェリックスといひ姉をファンニイと稱んだ。フェリックスは九歳にして既に演奏家として名をなし、十五歳にして歌劇四曲を作つたといふ。姉も常に之に伍してピアノの外作曲等をも残した。此の姉弟は祖父に偉大なる哲學者としてのモーゼスを持ち、父に銀行家として有名なアブラハムを持つたので、その教養、生活の點に於いて他の多くの音樂家の不遇なりし過去とは同日の比でなかつたのである。それ故彼の作品も亦、優艶鮮美、ただ美しいといふに止り、人生の暗黒なる半面には及ばなかつた。それが彼の長所であり、且つ短所である。然しながら三十八年の短日月の間に多くの交響音樂の外、「聖パウロ」「エリヤ」の二大聖劇、美しき多數のピアノ曲、中にも無言歌と稱するピアノの曲風の創始、その他歌謠曲の數々が残されてゐる。ヴァイオリン協奏曲も不朽の名作としてよく演奏される。

[鑑賞曲]

無言歌

作品五十三ノ第二番

Mendelssohn.

Allegro non troppo.

ten. p cresc. f ten. p sf f

かそけく	ホケキヨ	驚なく	聲もかそけく	深山の奥に	やまびこ	眠れる	水田詩仙	山うぐひす
	ケキヨ							

一 重嬰記號と重變記號

嬰記號によつて半音上げられた音を更に半音上げる時には重嬰記號 (x) を用ひ、變記號で半音下げられた音を更に半音下げる時には重變記號 (bb) を用ふ。

そして半音だけ本に歸す時にはそれぞれ (b#)、(bb) を用ひ全然本位音にかへす時には (bb) を用ふ。

例へば(a)の旋律をホ長調に移調する時には(b)の如く記譜しなければならない。

又(c)の旋律を變イ長調に移調する時は(d)の如くなる。

[鑑賞曲]

カウァティーナ

J. Raff.

Larghetto quasi Andantino.

p

後畧



# 紡ぐ少女

Hugo Jüngst.

Molto tranquillo e fervore.

一 マド ノ モ ト ニ  
二 ち ち は こ ぞ の

Molto tranquillo e fervore.

イ ト ク ル ヲ ト メ ヤ ヌ チ ハ ク ラ ク  
い く さ の に は に く に の ま も り の

ケ フ モ ク レ ユ ク  
か み と は な り ぬ

*pp poco più lento e dolce*  
三 イ コ ヘ ワ コ ト イ タ ハ ル ハ ハ ノ ヤ サ シ キ

*smorz.*  
コ エ ニ ナ ミ ダ ヲ カ ク ス

三	二	一	
や	國	家	窓
さ	の	内	の
し	護	は	下
き	の	は	に
聲		暗	
に		く	
	神	今	糸
涙	と	日	繰
を	は	も	る
か	な	暮	少
く	り	れ	女
す	ぬ	ゆ	
	の	く	

## 紡ぐ少女

植村甫

# 欵 乃 の 調

J. Offenbach.

Moderato.

*mp*  
な み さ へ ね - む れ る

Moderato.

*p*  
よ - る の う み - ろ の お と か - そ け き を ぶ ね の か

*mf*

い ぎ よ ひ づ - き も か た ぶ き て -  
げ い ぎ よ ひ づ - き も か た ぶ き て -

*p*

う ら し ま や - ま に い り の こ り - を  
う ら し ま や - ま に い り の こ り -

の へ の ま つ - か ず も し る く - か さ な る く  
ま つ - か ず も し る く

も - な み と ま が ふ な - - が め  
も - ぞ な み と ま - が ふ う る は し - か ゐ の



〔鑑賞曲〕  
ヴェニスの舟唄

Mendelssohn.

Allegretto tranquillo.

さらさら	あ	歌聲	神妙	う	尾	十	波	
さらさら	小波	あ	波にも	のたは	かさ	浦島	櫓へ	
さらさら	も	夢に	くみ	はし	かさなる	六夜	音か	
さらさら	調あはせ	漂へば	しらぶ	くみ	なる雲	月も	そける	歎乃の調
さらさら			る舟人の	ながめ	波	入り	夜の	桑田つねし
さらさら				あがめ	波	のこり	小舟の	
さらさら				あがめ	波	のこり	小舟の	
さらさら				あがめ	波	のこり	小舟の	



ブッチェーニ (Giacomo Puccini, 1858—1924) 数多の作曲家の内我が日本文化に特に関係のあるのはブッチェーニではなからうか。彼の作曲になる歌劇蝶々夫人にそは、日本の國の存在をも知らなかつた世界の人々に、強く種々の印象を與へ、親しむ可き日本を世界に紹介した記憶すべき作品である。

彼は此の曲中に日本の古來のメロディ二三を巧みに織込んでゐる。彼の歌劇には此の外「トスカ」、「ボエミヤの人達」等の有名なものがある。彼はイタリアのルッカに生れた。數代前にはジャコモと言ふ勝れた宗教音楽家が出、その後一世紀半許り沈黙を續けたが、然し地方的には相當な音楽の家であつた、此の家に我が歌劇大家ブッチェーニの出た事は偶然でない。彼はミランの音楽學校在學中既に「交響狂想曲」等を發表して名聲を博した。

〔鑑賞曲〕  
歌劇「蝶々夫人」中の舟唄

Puccini.

*mf mp cresc sf sfz mf*

# 昭和の日本

T. Williams.  
編者 編曲

Andante.

Andante.

*p*

一カ ミヨナ-ガーラ-ノ ミツ ホタル-  
二に しにひ-が-し-に ひの みは-たか

一カ ミヨナ-ガーラ-ノ ミツ ホタル-  
二に しにひ-が-し-に ひの みは-たか

*mf*

ル クニ ヤ マノ サ-チメ デ タク ウ ミノ サ チ ミ テ リ  
ざ -す み ふ ね い-た-ら -ぬ う な ば ら も な -し

ル クニ ヤ マノ サ-チメ デ タク ウ ミノ サ チ ミ テ リ  
ざ -す み ふ ね い-た-ら -ぬ う な ば ら も な -し

ア ア ワガ-ウ-マシ クニ ミメグミア マネク ア ア ワガ-オホ-  
み い つの-ひ-かり -は とつくにぐに-の うへ にもし-

ミメグミア マネク  
とつくにぐに-

*p e dolce*

*mf*

キ-ミ ア サヒトカ ガヤキ タ ミクサ ア ヲクサカエ  
る -く か が や き ま さ れ る い ま こ を せ う わ の み よ

ア サヒトカ ガヤキ  
か が や き ま さ れ る

*dolce*

*mf*

ア フ キ テ カ ミ ト タ タ フ ア ナ タ フ ト  
う ち と に さ か え は ゆ る あ な た の し

カ ミ ト タ タ フ  
さ か え は ゆ る

Poco allegretto e animato. *rit.*

ア ナ カ シ コ シ 三つとめよ はらから このく  
あ な を を し 三つとめよ はらから

Poco allegretto e animato. *rit.*

に このき み たへにも あやなす ふみによろづのた  
このくに ラララララ ラララララ ラララふみによろづのた

*p a tempo*

わざにく がにう みちに はげみ つとめよ  
わざにく がにう みちに はげみ つとめよ

Adagio. *p* *Fine.*

わがはらから

わがはらから *Fine.*

Adagio. *pp* *Fine.*

三 二 一

勵文妙此つ みににのこ 努萬も國め めのよ よ手あ此 技やのは 我にな君ら がすから 同胞に 海路に	あ今上稜御西 なここに威船に たそもの東 の昭著光らに し和くはぬ の日 あ御輝外海の な代きつ原御 壯ま國も旗 々内さ々な し外れるのし る榮えはゆる	あ民ああ山神 な草>>の代 た青 幸な く我我めが 栄ががでら えおうたの あほまく な仰君し瑞 かぎ國海穂 して朝の垂 こ神日み幸る ここ恵みる 稱輝あて國 ふきまねく	昭和の日本 水田詩仙
-------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

# 我が太陽

ナポリ民謡

Andante.

mf

*p*

一ウ ルハ シ ノ  
二あ かあ か と

ヒノカガヤキ アラシサリテ ナゴムソラニ  
ひはかたぶき なみのかなた こがねそめて

*cresc.*

一サシノボル アサヒノカゲ カガヤ  
一よのとばり せまりくれば しばし

*cresc.*

*mf*

キニミツヒ カリヨ ウレヒ ナキ  
やすらふわ がひよ あいにみつ

*mf*

一オモワノ ホホエミゾ ノゾミ  
一おもわの ほほゑみぞ すくひ

*f*

ニ モユ ルスガタカ  
の かみ のちからか

*f*

1. *p*

一ワガヒノ カガヤキ

1. *p*





# 嗟 峨 野 の 秋

Edwin C. Rowley.

♩ = 96.

*p* *mf*

一 二  
 サ ガ ノ ノ ア キ ニ ス ミ ユ ク  
 さ が の の お く に か た ぶ く

ツ キ ク ツ ワ モ ム シ ノ  
 つ き ふ き あ は す め る

*p*

ネ ニ ヒ ビ ク ツ キ ゲ ノ  
 ふ え の ね も ひ き と と

*mf*

コ マ ノ ヒ ツ メ ラ ト ド メ  
 む べ き こ と の は さ へ

キ キ イ ル ハ ナ カ ク ニ シ ユ ジュ  
 な く な く に み お く る こ が

ウ ミ ネ ノ ア ラ シ カ  
 う か は ら ぬ か げ や

マツカゼカ — タツヌルヒト  
くもゐより — なほのこるみ

ノ — コトノネカ — シラベハ  
の — くさのつゆ — てらしい

イトド サエワ タリ — シバ  
でたる つきか げを — あふ

シハタ タズム カゲフ タツ —  
ぎておつる — なみだかな —

*mf* *mf* *D.C.* *D.C.*

嵯峨野の秋

黒澤隆朝

二

泣き引き吹き嵯峨野の秋に  
くきと合はす奥に  
泣きとむる見送る言の葉さへ  
【獨唱】 泣きとむる見送る言の葉さへ

一

聞きの毛の駒の音にひびく  
【獨唱】 聞きの毛の駒の音にひびく  
仲國主從

調はしは竹む 影さえわたり  
尋ぬる人のか 琴の音か  
峰の嵐の松風か

[鑑賞曲]

トロイカ

Allegro moderato.

Tschaikowski.

11

後器

TROIKA (トロイカ) = 露西亞人の用ひる三頭立の馬車

# 籬の白菊

Andantino.

F. Abt.

mp

mp

一. シラツ ユシゲ キ マガキ --ノ-- ホトリ スガ  
二. まはぎ のかげに むしの --ね-- ほそく つき

mp

p

mp

p

string

レ シチグサ ミーダールルナ カニ クシク モキヨ  
な きよはの に--は--ものな かに ほしと もまが

cresc.

dim.

pp

string

rit.

pp a tempo

ク ニホフ シラギク タ カーキ ソ  
ふ ましろ のこぎく き よ--き そ

pp a tempo

cresc.

ノ カーヲリ ユカ シキ スガ タ  
の か--を--り めで たき すか--た

cresc.

sf

dim.

ヤ ア ハレーソ ノ シラ キク  
や あ はれ--そ の しら ぎく

f

dim.

籬の白菊 藤村俊

一

白露しげき 籬のほこり  
すがれし干草 亂る中に  
奇しくも深く 匂ふ白菊

二

眞萩の蔭に 庭面の細く  
月なき夜半の 眞白の小菊  
星もまがふ 眞白の菊

あはれ その白菊  
ゆかしき姿や  
あはれ その白菊  
高きそのかをり  
ゆかしき姿や  
あはれ その白菊  
めでたき姿や  
あはれ その白菊

[鑑賞曲]

歌劇「ラムメルムール」中の祝婚行進曲

Moderato mosso.

Donizetti.

12

D.C.

[鑑賞曲]

歌劇「ローエングリン」中の祝婚行進曲

Maestoso.

R. Wagner.

13

後器

[鑑賞曲]

幻想的即興曲

Moderato cantabile.

F. Chopin.

14

後器



ショパン(Frederic François Chopin, 1810—1849) ピアノ音楽はベートーヴェンによつて力を得、ショパンによつて美を得、然してリストによつて熱を得た。ショパンはベートーヴェンによつて管絃樂化されたピアノ音楽を、眞の絃の樂器として之を生かし、絃各個の響を飽くまでも尊重した。そのピアノ曲に残した形式に、  
 「ノクターン」 「マヅルカ」 「ヴァルス」 「ワルツ」 「アムプロムチュ」 「バラッド」(譚詩曲) 「スケルツォ」(諧謔曲) 「ロンド」 「ベルセース」(子守歌) 「エチュード」(練習曲)等がある。猶此の外ピアノソナタ、ピアノ協奏曲等を作つた。

彼はフランス士官を父とし、ポーランドの一婦人を母としてポーランドのワルサウ附近に生れ、九歳にして公開演奏會に大成功し、後ワルサウ大學の音樂部に學び、パリに到つて當代第一のピアニストの榮譽を得た。然し遺傳的な病患の爲め南國に旅行する所あり、遂ひにパリに死んだ。死期の逼るや一握の土塊を示し、之は故國の形見だから一緒に葬る様に言ひ遣したと傳へられる美談がある。

[鑑賞曲]

ポロネーズ

F. Chopin.

Allegro con brio.

15

[鑑賞曲]

夜想曲

F. Chopin. Op15.No.3

Lento. (♩ = 60)

16

後器

[鑑賞曲]

歌劇「アイダ」中の行進曲

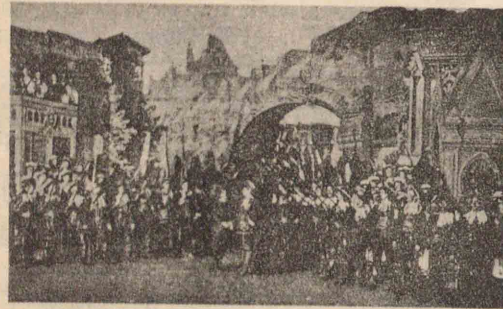
Verdi.

Allegro maestoso.

17

後器

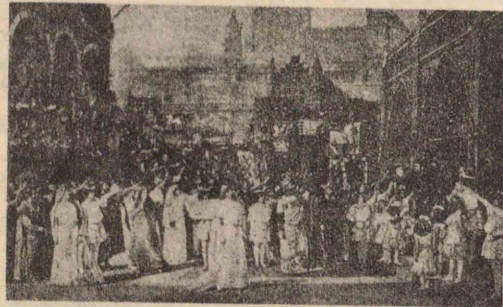
歌劇の舞臺面



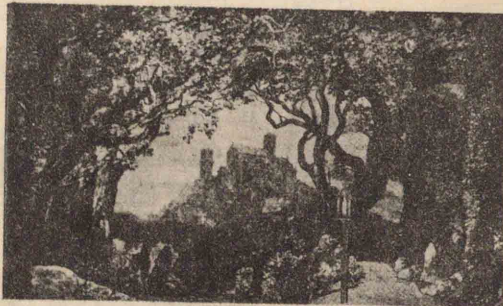
「ファウスト」兵士の合唱



「カルメン」大詰の場



「ローエングリン」第二幕



「タンホイザー」聖母像の場

[鑑賞曲]

歌劇「ファウスト」中の兵士の合唱

C. Gounod.

18

後器

[鑑賞曲]

歌劇「カルメン」中の闘牛士の歌

G. Bizet.

19

後器

倭文の苧環

黒澤隆朝

星月夜 鎌倉山  
 青葉がくれに 杜鵑啼き  
 若宮殿に風ぞ 薫る  
 吉野の山に 入りにし人の  
 足跡慕ひ しづやしづ  
 倭文の苧環 かへすよしも  
 泣くねしのびて 調あはせ  
 妙に舞ひ舞ふ 静の胸中  
 あはれあはれ 雄々しく舞ひ終へば  
 並み居る客人も 袖ぬらす  
 猛き東の武者の 眼にも  
 涙ありとこそ 覚えけれ

# 倭文の苧環

Ludolf Waldmann.

Allegretto.

mf

*p*

ほしーづーくよかまーくーらやまあー  
よーしののやまにいりにしーひとのあー

*p*

*f* *p*

をばがくれにほととぎすなきーわ  
しあとしたひしーづーやしづーし

*f* *p*

かみやどのーにかせぞかをるー  
づのをだまーきかへすよしもー

*mf* *p* *mf*

なくーねしーのびてしらべあはせーた

*mf* *p* *mf*

*f* *rit.*

へーにまーひまふしづかのむねぬち

*f* *rit.*

*a tempo* *p* *f*

あはーれあはーれををしくまひをへばな  
たけーきあづーまのむしゃのまなこにもな

*a tempo* *p* *f*

*a tempo* *p* *f*

*rit.* 1. 2.

みゐるまらーうどもそでぬらすー  
みーだありーとこそおほえけーれー

*rit.* *f* *f*

1. 2.

*rit.* *f* *f*

# 旅の明暮

A. Rubinstein.

Moderato.

カリネノユメ ムスバヌニ ハヤモシラム  
まつのみねに ひはおちて はやもくるる

タビノマド カナタヨリア ケラツゲル トリノコエ カネノヒビキ  
たびのそら ちまたにはい ろもはゆる のきごとの ともしあかし

アワタダシキ タビノユメ ムスピア  
あなうるはし たびのくれ みるもき

アワタダシキ タビノユメ  
あなうるはし たびのくれ

ヘズ ハ ヤ サ メヌ マドベニ タチ  
くも み な た のし を かべに た ち

ムスピアヘズ ハ ヤ サメヌ マドベニ タチ  
みるもきくも み な たのし を かべに た ち

ナガムレバ ミナレヌ ヤマ ノキニセ  
ながむれば まちのうねり ひかりあ

ナガムレバ ミナレヌ ヤマ ノキニセ  
ながむれば まちのうねり ひかりあ

マリユキキセハ シヒトノカ  
ふれゆめのごと くおともな

マリユキキセハ シヒトノカ  
ふれゆめのごと くおともな

ゲシ  
ゲシ  
し

*p*

二

軒巷早松	鶏彼早假	旅 の 明 暮
毎にもの	の方も寝	
のは暮嶺	聲よ白の	
往見窓	りら夢	
來な邊	む	
せれに結あ	鐘明旅結	
はぬ立びわ	へのけのば	
し山ちあた	響を窓ぬ	
人軒なずし	告に	
のにがき	ぐ	

一

藤  
村  
俊



ルビンスタイン (Anton Rubinstein. 1829—1894) 彼はチェッコスロバ  
キアに近いポーランド國境地方の一寒村に生れた。両親は猶太  
人で、母から音樂の教養を受けモスコウに出てピアノの師につ  
いた。十歳の時初めてステージに立つて成功し、翌年師と共に  
パリに旅行し、此所で當代のピアノ第一人者リストに見出さ  
れ、彼に師事した。その後歐洲を遍歴し大に得る所あり、露國  
に歸つてチャイコフスキーの如きを啓發しつゝ演奏に、作曲に専念した。彼はド  
イツ中心に育てられた近代音樂から蟬脱してロシア國民樂の獨立を宣言し露西亞  
歌劇の數曲を發表した。作品としては交響曲、ピアノ曲、歌謠曲等多數あるが、  
ロシア音樂開拓者として功績は一層有名で、猶此の運動に努力した人々は彼の前  
に格林カ、彼の後にチャイコフスキー、セザール・クワイ、ボロディン、リムスキー・コ  
ルサコフ、ムソルグスキー等がある。

[鑑賞曲]

へ調による旋律

A. Rubinstein.

Moderato.

20 *p* *cresc.* *sf* *mf*

*dim* *cresc.* *sf*

*Fine.*

*p* *dim.* 後 畧

D.C.



(鑑賞曲)

セレナーデ

Drigo.

Allegretto cantabile.

21

(鑑賞曲)

セレナーデ

F. Kreisler.

22

(鑑賞曲)

金婚式

Gabriel - Marie.

Andantino.

23

# 富嶽の頌

J. H. Stuntz.  
編者編曲

Maestoso.

(三部合唱の場合)

Maestoso.

(四部合唱の場合)

Maestoso.

一、コクウニソバーダツフガクノユウシミネ  
二、はくうんがんか にふがくのてうばうふよ

一、コクウニソバーダツフガクノユウシミネ  
二、はくうんがんか にふがくのてうばうふよ

ニハセンコノハクセツオホヒトリ  
ウのはちほうなつなほこほりみお

ニハセンコノハクセツオホヒトリ  
ウのはちほうなつなほこほりみお

一、からイバシマリンニソノキヲフルフコレ  
二、ろおろすしまねはむらさきけぶるこれ

一、からイバシマリンニソノキヲフルフコレ  
二、ろおろすしまねはむらさきけぶるこれ

トウカオロイバシマリンニは  
トウカオロイバシマリンニは

コレこそミクニノサカエノホマレ  
 これこそさんすおめいびのと  
 ソクニノサカエノホマレ  
 こそさんすおめいびのと

*dolce*

コレこそミクニノサカエノホマレ  
 これこそさんすおめいびのと  
 ソクニノサカエノホマレ  
 こそさんすおめいびのと

*dolce*

コレこそミクニノサカエノホマレ  
 これこそさんすおめいびのと  
 ソクニノサカエノホマレ  
 こそさんすおめいびのと

*marcato*

ヤタタヘマシタグヒモアラヌフジノ一タカネ  
 やたたへま—したぐひもあらぬやまと—しまね

*marcato*

ヤタタヘマシタグヒモアラヌフジノ一タカネ  
 やたたへま—したぐひもあらぬやまと—しまね

*mf*

コレこそミクニノサカエノホマレ  
 これこそさんすおめいびのと  
 ソクニノサカエノホマレ  
 こそさんすおめいびのと

*rit.*

コレこそミクニノサカエノホマレ  
 これこそさんすおめいびのと  
 ソクニノサカエノホマレ  
 こそさんすおめいびのと

*rit.*

コレこそミクニノサカエノホマレ  
 これこそさんすおめいびのと  
 ソクニノサカエノホマレ  
 こそさんすおめいびのと

*rit.* *a tempo*

二

比もあらぬ大和島根こそ  
 われらが御民の心

これこそ山水平媚のころ  
 眺下す島根は紫けふる

芙蓉の八峰夏なほ凍り  
 白雲眼下に富嶽の眺望

われらが御國の姿  
 比もあらぬ富士の高嶺こそ

これこそ御國の榮の響  
 東海萬里にその威をふるふ

峰には千古の白雪おほひ  
 虚空に峙つ富嶽の雄姿

富嶽の嶺

桑田つねし



二小節 (稀にそれ以上) を以つて正式の動機とする。

旋律の形式

次に旋律の形式を示して見よう。

例六 (Rinck)

楽節

動機(一)(二)は半終止で四小節の楽節を作り、(三)(四)は正格完全終止で之に對する四小節の楽節を作る。此

前楽節

の際、動機(一)(二)の楽節は先行する故、之を前楽節と

後楽節

名づけ、之に續く楽節を後楽節といふ。幾つかの楽節

樂段

が正格完全終止した時に樂段を生ずる。

#### 四 一部分型式の樂曲

小規模の歌曲には一樂段のみによつてなるものがある。之等の構造を一部分型式といふ。例六もその一である。

一部分型式

例七 動機 1-1'-1-1' (Haydn)

例八 動機 1-2-1-1' (フランス曲)

例九 動機 1-1'-2-3 (Nägeli)

例一〇 動機 1-1-2-3-3-2' (ドイツ曲)

例七は一種の動機で構成された曲の例で、然も例六と同一動機に基いてゐる。例八は二種の動機、例九、一〇は三種の動機によつて作られてゐる。但し例一〇の樂節は三動機から成る樂節の例である。

例一 (ドイツ曲)

此の曲の骨子は a b からなる一部分型式であるが、樂節(一)に第二動機を反復し、樂節(二)(三)は後樂節をなす部分が反復されてゐる。

例一二

コーダ

例一二は、後樂節は三動機になつてゐるが、二動機で完全に終止し、第三動機がなくても旋律が完結して居る。此の場合の第三の動機をコーダ (Coda) といひ、終結を飾るものである。

例一三 (ドイツ曲)

此の曲はその終止によつて一部分型式と見做さる可きもので、従つて此の樂節は八小節よりなるものである。此の様に一部分型式も種々の形があるが要するに一箇の完全終止を有する曲は一樂段よりなる曲であり、随つて一部分型式による曲である。

五 二部分型式の樂曲

二部分型式

樂段二箇を有する曲を二部分型式の曲といふ。

樂節 a-a·b-b (Wesley)

例一四

之の例一四の曲は完全終止をもつ第一樂節の反復によつて前樂段を備へ、此の對照として異なる動機による樂節を連ねてゐる。此の様に樂節も亦對比される。

樂節 a-a·b-a (Foster)

例一五

二部分型式に屬する歌曲は甚だ多い。こゝに僅かに二曲を示したに過ぎないが、一部分型式に於いて示した様な特殊なものも多數あるのである。要するに樂段を二箇と認められるものが二部分型式である。

六 三部分型式の樂曲

三部分型式

三箇の樂段より成る曲を三部分型式の曲といふ。

例一六

三部分型式の第二部は屬調(五度上の調)又は關係長短調に轉調する事が多い。而して第三部は普通第一部を反復して作られる。

然し中間の樂段は完全終止しない場合もある。即ち次の例一七の如く第一部と第二部とが殆ど同一の樂段になり、第二部は半終止ではあるが完全に中間樂段の性質を帯びてゐる時は、その効果上三部分型式と見做すのである。

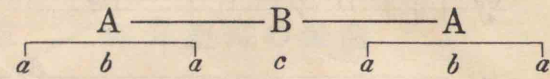
例一七 (Nägeli)

歌謠型式

一部分型式、二部分型式、三部分型式は多く歌謠の作曲に用ひられる故歌謠型式ともいふ。

### 七 複合三形式

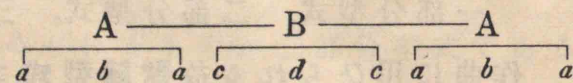
A—B—A の配列からなる曲を三形式と呼んだの複合三形式であるが、之が次の様に複合せられた時、之を複合三形式といひ、之も歌謡形式の一種である。次に示す例曲は第一部と第三部が三形式の場合である。



例一八 (Händel)

The musical score consists of eight staves of music in a single system. The first staff is labeled '例一八 (Händel)'. Above the first staff, 'A a' is written. Above the second staff, 'b' is written. Above the third staff, 'a' is written. Above the fourth staff, 'B c' is written. Above the fifth staff, 'A a' is written. Above the sixth staff, 'b' is written. Above the seventh staff, 'a' is written. Above the eighth staff, 'a' is written. The music is in a 3/4 time signature and features various rhythmic patterns and ornaments.

猶各部が三形式で書かれる事もある。



此の形式は舞曲、小曲、行進曲等に好んで用ひられる最も普通の形式で、之の中間部は特にトリオ (Trio) と呼ばれることがある。

### 八 ソナタ形式

歌謡形式の外にロンド形式、ソナタ形式、カノン、フーゲ形式等あるのであるが、此所ではソナタ形式の大要を述べて樂式の説明を終へる事とする。

トリオ

ソナタ形式

ソナタ (Sonata)

ソナチネ (Sonatine)

ソナタ形式

【導入部】

第一主題が表れる前に導入部が加はる事があるが之は形式の主要部ではない。

第一部 (提示部)

第一主題は最も印象的な樂想を用ひ、第二主題は之と對比的に取扱はれる。

【連鎖挿句】

此の兩主題の間に連鎖的の挿入句があるを普通とする。此の兩主題は一層印象づける爲め反復せられ、之にコーダと稱する部分が續いて第一部を終る。

第二主題 (屬調)

【コーダ】

第二部 (展開部)

第二部は第一部に表はれた主題の展開で作曲者の技巧を集中する重要な所であつて、型式には制限されない。

第三部 (再現部)

第一主題 (主調)

第三部は再び第一主題が現れ、同調に第二主題も現れてコーダで曲を終る。

【連鎖挿句】

第二主題 (主調)

【コーダ】

ソナタとは普通第一の曲にソナタ形式による曲を配した組合せの曲である。此の小規模の曲をソナチネといふ。今その配列の一般様式を示して見よう。

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 第一樂章 (急速な曲)      | ソナタ形式 |
| 第二樂章 (緩徐な曲)      | 歌謡形式  |
| 第三樂章 (三拍子の舞曲風の曲) | 歌謡形式  |
| 第四樂章 (急速な曲)      | ロンド形式 |

然し三樂章又は五樂章よりなるソナタも作られ、樂式上の配置も時代と作曲者により常に一定して居ない。

昭和七年七月二十三日  
 昭和八年七月二十六日  
 昭和八年二月十七日  
 印刷發行  
 修正再版印刷  
 修正再版發行

不許  
 復製  
 轉載



著者

發行所  
 印刷所

標準女子音樂教科書

第一編	定價金六拾錢
第二編	定價金六拾五錢
第三編	定價金六拾五錢
第四編	定價金七拾錢
第五編	定價金七拾五錢

林小黒  
 川澤幸一  
 光朗朝

東京市芝區松本町四十四番地  
 共益商社書店印刷部  
 代表者 白井保男

發行所

東京市芝區松本町四十四番地  
 共益商社書店

電話三田四〇五六・四〇五七  
 振替東京壹五八〇

手回子三組  
 手回子



広島大学図書

0130449394

